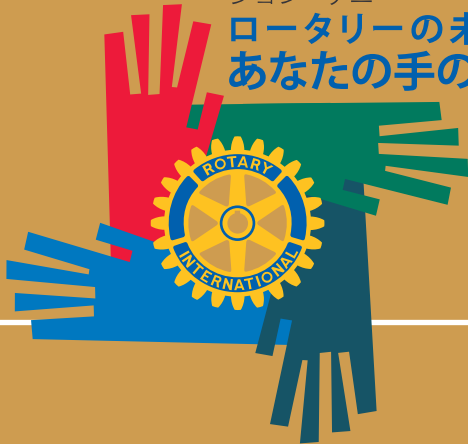


2009~2010年度 国際ロータリーのテーマ
ジョン・ケニー

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



会長/対馬健一 幹事/中出敏彦

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2009▶2010 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

親睦でクラブの活力と結束を、 そして奉仕は足もとから

プログラム

●本日

続・我が生き立ち①

越野俊興会員・平井誠治会員

ご夫人誕生日

1月27日 中川 豊美

1月29日 鈴木 正枝

●次週予定

No. 2404

第27回 1月27日

出席報告

前例会

会員総数	44名
出免会員	4名
出免出席	2名
出席会員	31名
出席率	73.81%

前々会

第24回 1月6日

出席会員	36名
メイクアップ	0名
修正出席率	81.40%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

- 留萌市国際交流協会の新年交流会の案内を頂きましたので、クラブを代表して出席して参りました。
- 1月16日札幌幌南RC創立45周年式典に田中ガバナー補佐に出席していただきました。

👤 幹事報告

- 1) 前例会に集まったそらぶちキッズキャンプの応援資金7千円を皆さんを代表して入れさせていただきます。

📰 3分間情報

会員研修委員会 平井委員長
「規定審議会」

規定審議会は「国際ロータリーの立法機関」である。RI理事会が国際ロータリーの方針を決定する一方、規定審議会ではロータリーの管理運営に関する諸規定の改正案件について審議がなされる。

1934年国際大会の諮問グループとして創設された「規定審議会」は、1974年以降ロータリーの立法的あるいは諸事的な機関として、ロータリーの諸規定を時代に即するよう、その改正に至る数多くの案件について審議している。

「審議会」は3年に一度、4~6月に、RI本部(アメリカ・イリノイ州エバンストン)の近郊での開催が決められているが、2010年の今

年は開催年次にあたり、間もなく4月25～30日イリノイ州シカゴで開かれる。審議会はクラブを代表して各地区から1人派遣される、投票権を持った「規定審議会代表議員」の他に、職権上の資格を持つ幾人かのメンバーによって構成されている。「代表議員」は、地区ガバナーとして一任期を満了したR Iの元役員であるパストガバナーの中から、選出されるのが原則で、世界から500人以上の代表議員が集うことになる。

規定審議会で審議される内容は、R I 定款・細則、標準ロータリークラブ定款改正などである。審議される案件の事を立法案と言い、世界各国のクラブから、地区大会、規定審議会、R I 理事会から「審議会」へ提出される。立法案は2種類に分類される。R I 定款・細則、標準ロータリークラブ定款・細則変更についての提案である「制定案」と、ロータリーの組織規定の改正以外の、ロータリーの方針と手続きへの変更提案である「決議案」である。つまり、決議案は制定案と異なり、規約を変更するものではない。R I 理事会に対して「このようにしてほしい」という案件を要望するにとどまるもので、それを実行に移すかどうかは、R I 理事会の裁量に任されている。

審議会の決議は、慎重に行われるもので、最終決定になる前に、世界中のロータリークラブによりもう一度検討される。すなわち、審議会終了後2ヶ月以内に採択された案件すべてを含む決定の報告書は各クラブに送付される。その時点で、もし全クラブの10%が規定審議会の決議に反対したならば、その立法案は未決となり最終審議に付される。審議会の決定は、すべてのロータリークラブに提示されるが、今のところ審議会での決定が覆ったことは無いようである。審議会での決定事項は、次の年度の7月1日から発効する。

ニコニコBOX

- 札幌南 R C 創立45周年記念式典と懇親会に出席して参りました 羽部会長さんから留萌クラブの皆様に宜しくとの伝言がありました
田中ガバナー補佐
- 先週の慶祝夜間例会多数の参加ありがとうございました
中川会員
- 写真撮影ご協力ありがとうございました
澤田会員
- 田中先生よりW C S 検証ツアーのD V Dをいただきました
大嶋会員

前 回	570,000円
今 回	10,000円
累 計	580,000円

プログラム

「年男大いに語る」

齋藤会員



年男大いに語ると言うことで、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

私の家族構成では、女房が「申」で長男が「亥」そしてその嫁が「申」、長女は「子」でそのダンナの婿さんが私と同じ「寅」でございまして、家族の中に寅は2匹でございます。

私は昭和59年10月17日に留萌ロータリークラブに入会、会長が平井誠治会員、幹事が渡部英次会員でした。クラブ在籍26年になり、会后3回の年男を迎えました。総人口を十二支別でみますと、「丑年」がトップで、以下「子年」「亥年」と続き、「寅年」は9番目だそうです。

昭和13年生まれの私も、早いもので今年4月26日の誕生日で72歳です。この歳になりますと、あちらこちら悪い所が出てきて、色々な病気を保有しております。「目の筋無力症」で札幌医大に11年掛かっており、前立腺で留萌市立病院に3年、血圧では現在川上内科にかかっていますが、25年になります。また、「膝の治療」で渡部先生の所へ8ヶ月前からお邪魔をしてお

ります。菌の方も、この歳ですので田中先生の所へ3年前からお邪魔をしております。沢山の病気と友達の現在です。

また昨年は皆様に大変お世話になりました。留萌ロータリークラブの会長として1年間色々な方との出会いがありました。遠藤幹事を筆頭にクラブ運営には皆様のお世話になりっぱなしの年でもありました。私にとっては素晴らしい機会を与えていただいた1年でもありました。この場をかりて感謝を申し上げます。

過去の寅年を調べてみましたが、1950年の年は、株価は101円91銭、経済情勢と主な出来事と言えば、初の1,000円札の発行と朝鮮戦争特需の年で、流行語は「貧乏人は麦を食え」でした。1962年は1,420円43銭の株価で、オリンピック景気とキューバ危機で、流行語は「無責任、青田買い、スモッグ」でした。1974年の時には株価は3,817円22銭となり、石油危機で狂乱物価、田中角栄首相退陣、長嶋茂雄が引退しております。

1986年は株価はドンと上がり、1万8,701円30銭で、円高不況、バブル景気、ソ連チェルノブイリ原発事故がありました。流行語は究極、激辛、新人類、「亭主元気で留守がいい」でした。

1998年は株価が下がり、1万3,842円17銭で、金融ビックバン、長銀・日債銀破綻、長野冬季五輪がありました。流行語は「ハマの大魔神、キレル」でした。

2010年予想では、物価見通しが市場予想は楽観的と悲観的に分かれ、円相場が再び円高に進む懸念もあり、デフレ傾向は根強い。日本経済の先行きと同様に株価の方向にも不透明感が漂う。証券業界では、「丑につまづき、寅千里を走り、兎跳ねる」という格言がある。丑年で伸び悩んだ株価が翌年の寅年に上昇に転じ、兎年にいっきに伸びるという意味だが、過去寅年を振り返ると、日経平均株価は戦後5回のうち4回が下落。格言通りに好転はしていない。市場では「新興国の需要拡大、民主党の経済政策を受けた消費拡大などを考えれば、来春には1万2千円まで回復」といった期待感がある。しかし政府が25日に発表した10年度の経済見通しは、

消費者物価が前年度比0.8%下落、完全失業率も5.3%の高止まりが続くと予想。物価の押し下げ要因ともなる円高も、世界経済の先行き懸念から1ドル80円を突破する予想さえある。世界景気の早期回復は難しく、株価は8,000円まで逆戻りするとの警戒感も出てきている。提供は読売新聞です。

古来より「虎は千里を行って千里を帰る」と言われるほど勇猛で勢いのある象徴として伝えられる「寅年」でございます。牛年より続いている社会環境、金融、政治、財政の問題。寅年は勇猛心の年、そういう意味で社会、金融、政治、財政等の問題を切り開いて行くものと信じて、虎は死して皮を残すと言われますが、私は何を残せるか、皮か名を残せるように事を大切に、会員皆様のご指導を仰ぎながら、会員皆様の商売繁栄と、家内安全を願い年男大いに語るを終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございます。



松崎会員

今年の干支は「庚(かのえ)寅」というのだそうで、普段から私などの使っている単に「今年の干支は寅」というのは正確には正しくないという事で、きのえ、きのと、ひのえ、ひのと、音読みすると甲乙丙丁等々とありますが、この十干と子牛寅卯の十二支を組み合わせたものが「干支」だと言うことですので、今年2010年は寅年であるけれど今年の干支と言えば日本語読みで「かのえ、トラ」音読みで「こういん」というそうです。庚寅年生まれの人性格はと言いますと、行動的で、しかも情熱的・自己中心的で、いささか虚栄心が強く、人一倍働き者である。また、行動は過激で、常に勝利を確信しているため、どんな問題も正面からぶつかって行く。欠点は、未来に対してあまりにも楽観的である所や、行動がいつも突然で予断を許さず自分の自由が制限されることを最も嫌うとある本に書いていました。これは当たっている所も当たっていない所もある気がしますが、欠点

と指摘されているところは、注意していきたいと思っています。

私は1950年生まれで今年9月で60歳になり、還暦を迎えます。ちなみに、同年生まれの著名人といえば、タレントの志村けん、舘ひろし、神田正輝、歌手の和田アキ子、細川たかし、ゴルフの高橋勝成などがおります。60歳といえば童謡の「船頭さん」の歌詞に「村の渡しの船頭さんは今年60のおじいさん」と書いてあります。この歌の作詞は竹内俊子という、1905年広島県生まれの女流童話作家兼作詞家で、詩人野口雨情に認められ、「カモメの水兵さん」「赤い帽子、白い帽子」「りんごのひとりごと」などのヒット曲を書いています。この60歳は当然数え年で、満で言うとうと58歳、59歳ですから、私の感覚で言えば、65歳まで働かなくては年金ももらえない現状を考えると、まだまだおじいさんなどと言ってもらえないし、自分ではまだまだ若いつもりでおります。ただロータリーの会員の中には、上下何歳か違いでおじいさんと呼ばれていることを考えると、私も早く孫が欲しい、孫は欲しいけれどおじいさんと呼ばれたくない、でも本当に孫が出来ればおじいさんだと言うことで、若干複雑な気持ちではあります。

さて、前置きが長くなりましたが、今日は皆さんも関心の高い「デフレ」について多少調べてきましたので、お話をさせていただきたいと思います。知識として吸収されている方も多くいらっしゃるかと存じますので、年男のたわごととお聞き流していただくか、何かの参考にもしていただければ幸いです。

デフレはデフレーションの略語でインフレーションの対象語として使われるケースが多く、一般的には「物価が継続的に下落してゆく経済現象」をさします。国際金融機関（IMF）の定義では、「物価の下落が2年以上続く状態」となっています。ただデフレ論者によっては色々な意味に用いられており、不況、景気の後退をさす場合や、物価の下落に伴った景気の低迷をさす場合や、物価下落のうち需給緩和による部分のみをさす場合等があり、どういった意味で使っているかには注意が必要です。

昨年11月に、当時菅直人副総理兼経済財政担当相は、月例経済報告の中で、「我が国の経済の現状について、物価の動向を総合的に見ると穏やかなデフレ状態にある」として、日本政府として公式にデフレを認定するとともに、デフレを持続的な物価下落と明確に定義しました。政府のデフレ宣言は2006年6月以来3年5ヶ月ぶりであり、その判断の根拠として、

- ①消費者物価指数が前月比で6ヶ月連続で下落している。
- ②7月～9月期名目GDP（国内総生産）伸び率が2四半期連続で実質GDPを下回り、名実逆転が継続している。ことをあげています。

日経ビジネスによると、日本が「デフレ」を経験するのは戦後2回目であり、前回は大手金融機関が経営破たんするといった金融危機が根本原因であったが、今回は金融システムに大きな混乱はなく、経済の需要が供給を下回るという需要不足が要因で、これは日銀の白川総裁も同じように需要不足を根本原因に挙げていますが、当面は大きく改善しそうもない「真性デフレ」の様相を呈していると書いています。

それでは、デフレっていうのは我々の生活にとって良いのか、悪いのかどっちなんだという事ですが、物価が下がって良い事ではないかという話を耳にするが、物価だけが下がってれば良い事なんだろうが、経済は個人や企業が複雑に関係しており、一度上がった賃金、現状水準の賃金はなかなか下がりにくいという「賃金の下方硬直性」と呼ばれる現象によって、企業の業績が急激に悪化する事が知られており、その結果新しい投資が抑制されたり、企業がリストラを行って職を失う人が出てくる。最も打撃を受けるのが、新卒で採用を待っている学生と現在失業中の人たちだと言う事です。なぜなら、一番簡単な人件費の抑制政策が新しい人を雇わない事であるからなんです。デフレはこういった意味で、よい事とは言えないということになるでしょう。

（次週に続く）